

CLOSE UP!

## おぢやしごと未来塾

小千谷市内の全中学校の生徒を対象に、ふるさと小千谷をけん引する地域の産業や、市内の魅力的な企業・事業所を理解し、体感する機会として産学官連携で開催しています。



### □ 教育



ふるさと教育

小千谷の自然や文化などを学んで郷土愛を育み、地域の教育資源を活用した人との交流や体験的な学習活動を推進します。



防災教育

「おぢや防災塾」などを通して震災の教訓を継承し、「自分の命は自分で守る」防災意識を持った子どもを育てます。

### □ スポーツ



トップアスリートサポート

高い競技力と向上心を持ち、五輪・パラ五輪などの出場を目指す、活躍が期待されるアスリートを支援します。



特別支援教育

障がいのある子ども一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加できる力を育てます。



ICT教育

「情報活用能力」を培うためにパソコンの基本操作、問題解決のための情報活用、プログラミングなどを学習します。



各種スポーツ大会の開催

市民がスポーツを見て感動し夢を持ち、多様なスポーツを楽しめるよう、大会開催や観戦の機会提供に努めます。

### □ 産業



食品製造業

米どころ小千谷の特色を活かした米菓や米飯食品の製造が盛ん。高い品質と味は県内外から支持されています。



農業(米・カリフラワー等)

全国的に名高い「魚沼産コシヒカリ」はもちろん、「白いダイヤモンド」カリフラワーの出荷量は県内トップクラスです。



産業団地

地域産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、新たな企業立地用地の確保・造成を行い、企業誘致を目指します。

CLOSE UP!

## テクノ小千谷名匠塾

企業の枠を超えて、地域産業で重要な技術力の維持・継承を行う取組です。技術者の育成に加えて、地域全体の産業の活性化にも寄与しています。



### □ 環境



地球温暖化対策

片貝総合センターの太陽光発電や錦鯉の里の地中熱利用など、再生可能エネルギーの活用により脱炭素化を推進します。



サケの稚魚放流

平成25年度から魚沼漁業協同組合とJR東日本の主催で、信濃川の河川環境と水利用の調和を目的に実施されています。



ごみ減量・リサイクル

分別収集、再資源化、堆肥化など収集・運搬・処理の効率化を積極的に行い、循環型社会形成の実現化を図っています。

未来の笑顔を育てるまち

技と資源が活きるまち

TOPIC

## 女性の就業率は県平均以上! 女性が活躍できるおぢや

### 女性の就業率

小千谷市 **52.4%**  
(県内7位/30市町村)



全国平均 **52.4%** 新潟県 **51.5%**  
(全国25位/47都道府県)

※15歳以上の人口における就業者の割合のこと  
参照: データでみる新潟県 ~指標ハンドブック~(令和4年度)  
都道府県編・市町村編 / 指標編

女性の社会進出が著しく、働き方が多様になった昨今、小千谷市でも女性が活躍しています。就業率\*52.4%は、県内7位。特に30歳代から40歳代の就業率が高く、全国的にも非常に高い水準となっています。子育て環境の充実などの「暮らしやすさ」が、「働きやすさ」につながっていると云えます。今後も女性が活躍するための環境づくり支援を実施していきます。

INTERVIEW

## 「技能士がいるまち小千谷」を目指して切磋琢磨



令和4年で55周年を迎えた、私たち「小千谷鉄工電子協同組合」の会員企業数は現在63社です。主に「生産財」と言われる、自動車やスマートフォン、時計など、普段私たちが使用している「消費財」を作るために必要な製品を製造しています。消費者の方が目にする機会は少ないですが、製品の製造になくはならない部品であるため、産業の根底を支えていると言えます。「テクノ小千谷名匠塾」開設以降、国家技能検定の合格者(技能士)数は飛躍的に伸びました。将来的には「技能士がいるまち小千谷」に仕事が集まり、人が集まる好循環を生み出し、まちの活性化につなげたいと考えています。



「小千谷市民は真面目で手先が器用な人が多い。製造業に向いている」と話す、酒巻弘和小千谷鉄工電子協同組合理事長(ユキワ精工(株)代表取締役社長)。



製品は総合産業会館サブプラザ内に展示中。小千谷の技術をご覧ください。